

**製品名: CSP ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09462**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	30kDa

**抗原情報**

遺伝子名	DNAJC5
別名	DNAJC5; CSP; DnaJ homolog subfamily C member 5; Cysteine string protein; CSP
遺伝子 ID	80331.0
SwissProt ID	Q9H3Z4
免疫原	抗血清はヒト DNAJC5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 131-180

**背景**

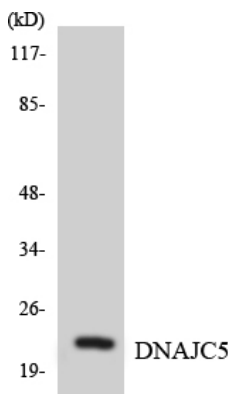
この遺伝子はJタンパク質ファミリーのメンバーです。Jタンパク質は、70 kDa の熱ショックタンパク質の ATPase 活性を制御することで、多くの細胞プロセスに作用します。コードされているタンパク質は膜輸送とタンパク質フォールディングに関与し、抗神経変

性特性を持つことが示されています。コードされているタンパク質は、嚢胞性線維症とハンチントン病に関与することが知られています。この遺伝子の疑似遺伝子は、8番染色体短腕に位置しています。[RefSeq 提供、2010年11月]機能: シナプス前機能において重要な役割を果たす可能性があります。神経終末におけるカルシウム依存性神経伝達物質の放出に関与している可能性があります。、PTM: 脂肪酸アシル化。システイン鎖モチーフが高度にパルミトイル化されている。、類似性:1つのJドメインを含む。、細胞内局在:ステージIからステージIVまでのメラノソーム分画中の質量分析により同定される。、組織特異性:脾臓、腎臓、骨格筋、肝臓、肺、胎盤、脳、心臓で発現する。、

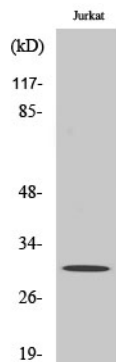
## 研究分野

-

## 画像データ



DNAJC5 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



CSP ポリクローナル抗体 (1: 2000 希釈) を用いた各種細胞のウェスタンブロット解析